



特集 にじいろの明日へ

大雪をまるごと満喫！

ぷくらすカレッジの講座のひとつ「ドキドキ!! 自然体験塾」が、1月27日に朝日少年自然の家でおこなわれました。この日は町内の小学生19人のほか、宮城県亘理町の少年野球チームに所属する8人の小学生が参加し、一緒にチューブ滑りやアイスクリーム作りを体験。朝から大雪に見舞われながらも、雪国ならではの魅力を存分に体感していました。



平成30年

2

No.684

にじいろの明日へ

今年4月、新しい町立保育園がいよいよ開園します。その名は「にじいろ保育園」。2カ年にわたった工事が完了し、施設面での準備は整いました。運営の面でも、町民の皆さんの保育ニーズに応えるため、体制づくりが着実に進んでいます。

虹色のようにさまざまな個性を持った子どもたちが、未来へ羽ばたくための架け橋となるよう、願いを込めて名付けられた新保育園。一足早くオープンした新しい子育て支援センター「ぱれっと」とともに、その概要をお伝えします。



新たな保育園への歩み

全国規模で進行する少子化と、多様化するニーズへ対応する必要性から、将来の町の保育、特に町立保育園のあり方について、これまでたくさんの方の意見が交わされてきました。

平成24年、町内の保育関係者や保護者などで構成された「町立保育園のあり方検討委員会」により、町立保育園運営の方向性についての検討が本格的にスタート。さらなる少子高齢化の進行が予想される中、2つの町立保育園を統合し、より充実した保育体制をつくっていくべきとの結論が出されました。こうした検討結果に基づいて、平成30年4月の統合保育園開園を目指し、平成28年度からわかば保育園の増築・改修工事を進めてきました。

工事は順調に進み、昨年11月末には保育園の増築部分が完成。年が明けて1月末には周辺整備や既存園舎の改修工事も終わり、4月オープン予定の新保育園が姿を現しました。

虹色に込められた願い

町立保育園の統合に伴い、子どもたちや保護者はもちろん、すべての

にぎわいを包む新空間

にじいろ保育園の定員は、合わせて140名。増築された棟には、これまでより広々とした2つの保育室

方に愛される保育園となるよう、昨年10月に町民の皆さんから新しい名称を募集しました。約1カ月間の募集期間中に、皆さんからお寄せいただいた名称の候補は74点。その中から、名称選考委員会において新保育園にふさわしい名前が検討され、最終的に選ばれたのが「にじいろ保育園」です。

子どもたちそれぞれの個性が鮮やかな色彩となって光り輝き、そして虹の向こうに見える未来に希望を感じるような保育園に——「にじいろ」という名前には、このような想いが込められています。

子どもたちや町の将来に抱く理想像もまた、人それぞれであり多彩であるといえます。異なる色の光が混じり合っってひとつのまぶしい光となるように、町民の皆さんのあふれる夢や希望がひとつの形となって実現する、そんな子育ての拠点を目指して、にじいろ保育園の歩みが始まるうとしていきます。



▲新しい遊戯室で遊ぶ子どもたち。壁登りなどの遊びもできます

が整備され、子どもたちがのびのび活動できるようスペースが確保されています。増築棟の中に新設された遊戯室は、より広く開放的な明るい空間になりました。ステージ奥の壁が開閉式になっており、大きな窓からは四季折々の風景を望むことができます。

近年高まっている0歳児・1歳児の保育のニーズに 대응するため、現わかば保育園の乳児室を低年齢児の

町立「にじいろ保育園」概要

- 所在地 大江町大字本郷丙 1338-1
(現：わかば保育園)
- 定員 140名(0歳児～5歳児)
- 保育内容
 - 通常保育、延長保育、土曜日保育、障がい児保育など
 - ※これまでの保育サービスを継続するほか、新たなサービスの実施についても検討します。
- 職員数 22名(うち保育士15名)
 - ※国の保育士配置基準に沿った保育士数を確保するほか、現在と同様の加配なども実施します。
- 保育料・入園申込みなど
 - ・保育料はこれまでと同じく町の基準により決定し、毎月町に納付していただきます。
 - ・入園申込みは町に対しておこなうこととし、審査の上町長が入所を決定します。
- 特色ある活動の推進
 - 地域住民や高齢者、学校、若者など、さまざまな交流活動を通じた学びの場を提供するとともに、英語にふれる遊びを取り入れるなど、自然あふれる環境の中で魅力ある保育を推進します。



より安心の子育て体制

ための保育室として整備しています。また、園の受け入れ人数増加に対応するため調理室を拡張し、より利便性と安全性の高い設備にするための改修がおこなわれました。

増築棟の南側に設けられた屋外遊戯施設もすでに完成し、緑あふれる自然の中ですがすがしい風と光を浴びながら、子どもたちが伸びやかに育っていただける場になっています。

今後、さくら保育園からの移動

作業を経た後、にじいろ保育園がいよいよスタートすることになります。

社会構造やライフスタイルなどの変化により、現在の保育に対するニーズは多岐にわたるようになっていきます。今後ますます多様化するとみられるニーズのすべてに、行政が



子育て支援センター「ぱれっと」内の「ちびっこひろば」。親子で楽しいひとときを過ごせる空間です

虹色の夢を描く「ぱれっと」

直接的に伝えることは困難になると予想されています。

そこで、より柔軟で素早い対応が期待できる民間の特色を生かした保育を目指し、町が主体となって保育園運営のための新たな社会福祉法人を設立することとしました。運営については指定管理者制度を導入し、町の保育方針のもとで運営を委託します。これにより、民間ならではの新たな保育サービスを展開していくとともに、町の方針などをスムーズに取り入れたスピーディーな対応が可能になると見込まれます。

これまで町がおこなってきた保育サービスを継続するとともに、子育て中の皆さんの要望に応えられるよう新たなサービスの実施も検討していきます。

ぱれっとで未来を描く

子育て支援センターは、未就園児とその家族を対象に、親子のふれあいと交流の場として設けられた施設です。わかば保育園内の一室を「子育てひろば」として一般開放する形で、これまで運営されてきました。そしてこのたび、町立保育園の統合にあわせて新しい子育て支援センタ

ーが整備されました。保育園よりも一足早くオープンし、すでにたくさんの方々にご利用いただいています。

町立保育園の新名称を決定する選考委員会で、新しい子育て支援センターにふさわしい愛称もまた、町民の皆さんの応募作品の中から選ばれました。その名は「ぱれっと」。絵画を描く際に用いられる道具「パレット」と、方言「パレットする」をかけた名前で、「にじいろ」の夢を描けるような子育て施設になるようにとの願いから名づけられました。

新施設で広がる可能性

子育て支援センター「ぱれっと」は、町産の西山杉を多く使用した、木の温もりと優しさが感じられる施設となっています。木目の美しさを前面に出した壁や床、天井が高く自然光が多く差し込む設計によって、センター内は明るく開放的な空間が広がっています。

玄関に入っただけ目の前にあるのが、楽しい絵本を取りそろえた絵本コーナー。バラエティ豊かなお話の世界が利用者を迎えてくれます。右手奥に入っていくと、「あかちゃんひろば」と「ちびっこひろば」があ



高取 明日美さん
双葉ちゃん
(荻野)

3歳くらいの子どものびのびと体を動かして遊べるようになればと思っていたので、大きなホールと大型の遊具ができてよかったです。2歳以下の子どもが安全に遊べるスペースもあって、安心できますね。春になって、外の遊具が使えるようになるのも楽しみです。



▲「わんぱくホール」に設置された大型遊具

利用中の方にお聞きしました

新しいセンターができた直後から利用しています。気軽に足を運べて、明るくて温かい、とても素敵な施設ですね。いろいろな遊具がそろっていますし、遊び相手になってくれる子どもたちもたくさんいるので、孫も喜んでいきます。



阿部 由美子さん
凜子ちゃん
(月布)



▲利用者を迎えてくれる絵本コーナー



▲安全な遊具で、小さいお子さんも安心して遊べます

「ぱれっと」子育て支援員より



子育て支援員
室岡 育子さん

子育て支援センターが新しくなって、以前よりもたくさんの方が利用してくださるようになり、うれしく思っています。特に0歳から1歳のお子さんを持つ保護者の方が多く、町外から来てくださっている方もいます。

子育て中の方同士が顔見知りになり、悩みの解消や情報交換につながっていくような活動を、今後も続けていきたいですね。

り、小さなお子さんでも安心してのびのびと遊べる遊具が用意されています。さらにその奥には、子どもたちが駆け回るのに十分な広さのわんぱくホール。中央には、橋やすべり台などが複合された高さ約3・6メートルにもなる大型遊具が設置されたほか、壁面には四角い穴の開いた「かくれ部屋」など、子どもたちの興味を



魅力満点のセンターへ

引く工夫がちりばめられています。センター内は床暖房により冬期間でも暖かく過ごすことができます。そのほか、授乳室と調乳室、おやつが食べられる飲食スペース、スタッフに子育てについて相談ができる相談コーナーなど、親子で安心して利用できる設備を整えるとともに、あらゆる面で安全性と利便性を確保するための配慮がなされています。

にじいろ保育園の運営は社会福祉法人に委託されますが、子育て支援センター「ぱれっと」については、町が直接運営をおこなうこととしています。未就園児と保護者の育児支援や相談支援などの活動を強化していくため、町の子育て支援担当や保健師と連携しながら運営に当たっていく方針です。これまでおこなってきた事業を継続し、さらに発展させていくとともに、拡充された施設や設備、屋内・屋外遊具を十分に生かした各種イベントを企画し、そして保育園との連携・交流を深めながら、子育て支援の拠点としてさらなる取り組みを進めていきます。

町政功労者表彰

1月4日、ふれあい会館で平成29年度町政功労者表彰式がおこなわれました。町の社会福祉や体育推進など、各分野にわたって町政振興のためにご活躍された受賞者の皆さんを紹介します。

町政発展功労



松田 敏男 さん
貫見

21年の永きにわたり、町議会議員として地方自治の振興に寄与するとともに、町政の充実発展に貢献されました。



柏倉 五郎 さん
三合田

10年の永きにわたり、三合田区長として地域の振興に尽力され、町政の充実発展に貢献されました。



佐藤 廣子 さん
13区

12年の永きにわたり、振興審議会委員として本町の振興発展に寄与するとともに、町政の充実発展に貢献されました。

体育功労



結城 壽一 さん
小鉾

31年の永きにわたり、体育指導員およびスポーツ推進委員として尽力され、町の体育の振興発展に貢献されました。



荒木 友加 さん
月布

31年の永きにわたり、体育指導員およびスポーツ推進委員として尽力され、町の体育の振興発展に貢献されました。



荒木 邦治 さん
月布

15年の永きにわたり、体育指導員およびスポーツ推進委員として尽力され、町の体育の振興発展に貢献されました。

❁ まちづくり功労

起業支援のため町に多大なる寄付をなされ、地方自治の振興に寄与するとともに、町政の充実発展に貢献されました。



大瀧 學 さん
千葉県野田市

❁ 社会福祉功労

56年の永きにわたり、町の地域医療に尽力され、保健衛生の向上に貢献されました。



佐藤 雄幸 さん
6区

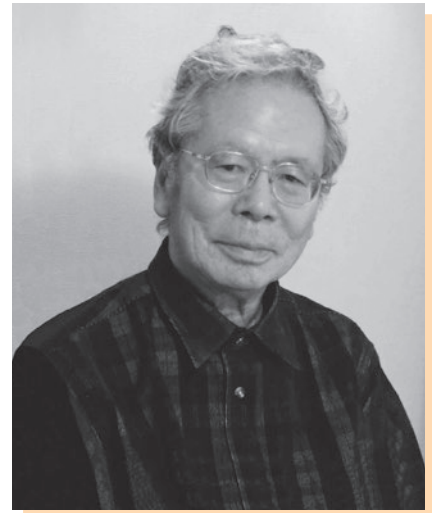
❁ 交通安全功労

49年の永きにわたり、交通指導員として本町の交通事故防止活動および交通安全思想の普及や高揚に貢献されました。



松田 強三 さん
7区

40年の永きにわたり、町の地域医療に尽力され、保健衛生の向上に貢献されました。



奥山 秀弥 さん
5区

平成30年 町民新年会が開かれました

さがえ西村山農協、大江町区長会、大江町商工会の主催による平成30年町民新年会が、1月4日にふれあい会館で開催されました。新年会には、町政功労者をはじめ各種団体の代表や各区長など約130人が参加。主催者を代表して、さがえ西村山農協副組合長の安孫子常哉さん(8区)が「活気ある町をPRし、さらなる飛躍の年にしたい」とあいさつしました。

参加者は町の地酒「大江錦」で乾杯し、年頭のあいさつなどを交わしながら新しい1年の幕開けを祝っていました。



■安心安全のために手を携えて ～町と郵便局との包括連携協定～

災害時における対応強化や地域の活性化に向けて、町と町内郵便局、および寒河江郵便局との間で包括連携協定が結ばれ、1月15日に役場庁舎内にて締結式が執りおこなわれました。

この協定は、町と関係郵便局が相互に緊密に連携することにより、双方の資源を有効に活用した協働活動を推進し、日頃からの防災活動と大規模災害へのより迅速な対応などに役立てることを目的として結ばれたものです。

締結式では、渡邊町長と富樫淳一郎左沢郵便局長、新妻俊一寒河江郵便局長が協定書に署名をおこない、協定を締結しました。

この協定による町と郵便局との主な連携内容は、日常の防災活動および災害発生時の対応、道路損傷、不法投棄、不審者についての情報提供、地域・暮らしの安全・安心やふるさと納税の取り組み支援などです。町内の広範囲にわたる地域をカバーし、かつ日常的に町民と密接に関わる郵便局のネットワークを活用することで、今後、町民の皆さんの安心で快適な暮らしのために、より幅広く柔軟な対応が可能になることが期待されます。



▲1月15日、役場大会議室で締結式がおこなわれました

町内小学生の皆さんによる農業体験・復興支援活動

東日本大震災で大きな被害を受けた宮城県亶理町の皆さんを応援するため、町内の小学生が農業体験を通じた支援活動をおこないました。

今年度、左沢小学校5年生の児童たちは田植えから米作りを体験。11月に開催された町の文化祭で、自分たちで収穫した米を来場者に販売したほか、募金活動をおこない、その際の売上金と募金36,947円を寄付していただきました。

本郷東小学校では、3年生の児童たちがリンゴ栽培を体験し、収穫したリンゴを12月にテルメ柏陵健康温泉館前で販売。その売上金13,750円を寄付していただきました。

義援金は災害復興に役立てていただくために、両校の児童の代表から宮城県亶理町の小学生に手渡されました。



▲1月27日、来町した亶理町の子どもたちに義援金が直接手渡されました



▲左沢小学校5年生代表の菊地陽生さん、五十嵐鈴那さん



▲本郷東小学校3年生の皆さん

平成29年度 体育協会表彰



左から、矢藤海、石澤六男、阿部八ル子、前田峻、鈴木健一、菊地道登 ※表彰式出席者、敬称略

今年度、本町スポーツの普及と振興に功労があった方や競技成績の優秀な方を表彰する大江町体育協会表彰が、1月28日に体育センターでおこなわれ、8人に殊勲賞、1人に奨励賞が贈られました。

☆殊勲賞：町・県を代表して全国大会に出場し入賞された方、県大会で優勝された方

☆奨励賞：県大会で上位入賞された方

【殊勲賞】

岡田 悠 (蛍水)

山形中央高校1年、平成29年度全国高等学校総合体育大会陸上競技女子4×100メートル第6位、平成29年度東北高等学校選手権大会陸上競技女子4×100メートル第1位、第72回国民体育大会山形県予選会陸上競技女子少年B100メートル第1位、同走幅跳第1位

前田 峻 (4区)

東北福祉大学4年、第70回東北学生卓球選手権大会男子ダブルス第1位

菊地 道登 (梨木原)

大江中学校1年、第38回東北中学校陸上競技大会1年男子1500メートル第1位、第57回山形県中学校総合体育大会陸上競技1年男子1500メートル第1位

石澤 六男 (美郷)

大江町グラウンドゴルフ協会、第20回山形県グラウンドゴルフ交流大会第1位

鈴木 健一 (顔好)

大江町ラジボール愛好会、第15回ラジボール卓球選手権大会混合ダブルス160歳以上第1位

阿部八ル子 (所部)

大江町ラジボール愛好会、第15回ラジボール卓球選手権大会女子シングルス80歳以上第1位

矢藤 海 (小見)

霞城学園高校1年、第64回山形県高等学校定時制通信制総合体育大会バドミントン競技男子ダブルス第1位

大沼 翼 (美郷)

東海大山形高校2年、第68回山形県高等学校総合体育大会陸上競技男子1500メートル第1位、同5000メートル第1位

【奨励賞】

笹川 愛琉 (蛍水)

大江中学校1年、第57回山形県中学校総合体育大会陸上競技女子1年100メートル第2位

※敬称略

地域おこし協力隊員・佐々木隆馬さん退任

本町の地域おこし協力隊として地域活性化のための活動に携わってきた佐々木隆馬さんが、昨年12月末の任期満了をもって退任されました。

佐々木さんは、平成27年1月に地域おこし協力隊に着任し、家族とともに柳川地区へ移住。この年4月にオープンした山里交流館「やまさあーべ」の館長として、運営の中心的な役割を担いました。また、自身の知識や経験を生かして、リポートレッキングなど数々の「自然体験プログラム」を考案し、町内外から訪れた数多くの利用者に七軒地区の豊かな自然の魅力を紹介してきました。

今後も引き続き柳川地区に居住し、将来的には農家民宿の開業を目指すという佐々木さん。「あっという間に3年の任期が終了しました。でも、ここからが定住本番。今後ともよろしく願います」と話していました。



▲今後も七軒地区で活動を続けていく予定の佐々木さん



1/13 今年も地蔵さまござった！

沢口地区の伝統行事「地蔵さまたがぎ」が、1月13日におこなわれました。この行事は、無病息災と五穀豊穰を願う風習のひとつで、かつては地域の子もたちと若者たちが地蔵さまを抱え、「地蔵さまござった」と呼びかけながら各戸を巡回していました。現在では、鈴木富太郎さん（沢口）の自宅から西林寺まで、地域の若者が地蔵さまを運ぶという形で受け継がれています。

この日は同地区内でおさいとうもおこなわれ、小正月の風習を守り継ぐとともに、地域の皆さんが一堂に集う一日となりました。



1/14 雪の中へ豊作の祈りを込めて

小正月の行事「雪中田植え」が、1月14日に歴史民俗資料館で実施されました。この行事は、雪の上で田植えの動作をして秋の豊作を祈る神事で、毎年1月15日前後の小正月の時期に、町内の多くの地域でおこなわれていたものです。

今年、田植えを担当する「早乙女」役となったのは、柏倉幸子さん（12区）、西田仁美さん（8区）、林亜希子さん（蛭水）。笠とみのを身につけ、わらと豆がらの束を雪の上に挿していきました。会場には町内外から多くの方が訪れ、今に伝わる昔ながらの風習に見入っていました。



1/14 伝統の火を絶やさずに

1月中旬から下旬にかけて、小正月の代表的な行事である「おさいとう」が町内各地でおこなわれました。1月14日の小漆川地区のおさいとうでは、地区の皆さんがわらなどの材料集めやだんご木づくりといった準備を朝からおこないました。

夕方、積み上がったわらなどに点火されると、集まった地区の皆さんはしめ飾りや書き初め、だんご木などを焼き、1年の健康を祈りました。

小漆川区長の園岡正一さんは「地区のこうした伝統を、若者や子どもたちにしっかり伝えていきたいです」と話していました。



1/17 おいしさを分かち合う介護食

家庭でできる介護食を学ぶ「やさしい在宅介護食教室」が、1月17日に保健センターで開催されました。この講座は在宅介護中の方などを対象としたもので、一般社団法人ゆにしあ管理栄養士・宗方恵理さんを講師に迎え、おいしく栄養豊富な介護食の講話と調理実習がおこなわれました。

実習では「鶏がゆ」や「魚のつみれ」といった、家庭にある材料でできるメニューを調理。自分で調理するとおいしさをより実感できるということもあり、参加した皆さんは「家族と一緒に作ってみたい」と話していました。



1/18 おしゃれでおいしいおすしはいかが？

ぷくらすカレッジのフリープラン講座として、1月18日に「デコ巻きずし教室」が中央公民館で開催されました。デコ巻きずしとは、色とりどりの食材を使って断面が花などの模様になるように作る巻きずしで、催しの際の料理やお弁当用として人気急上昇。講座には28人が参加しました。

この日は初級編として、サクラソウとバラのおすしに挑戦。講師の高橋幸子さん（山辺町）のアドバイスのもと、参加した方は「形を整えるのが難しいですね」と言いながらも、手作りのおしゃれな巻きずしを完成させていました。



1/26 手塩に掛けたリンゴで応援！

左沢高校2年生の生徒6人が1月26日に大江中学校を訪問し、給食用として生徒全員分の「リンゴチップ」を贈呈しました。リンゴチップは左沢高校2年生が育てたリンゴを加工したもので、高校受験に臨む3年生に手渡されました。また、町内の小学校でもすべての児童に提供されました。

「リンゴチップを食べて、インフルエンザなどに負けずにがんばって合格してほしいです」と話す、左沢高校2年生の川越嗣土さん（6区）。中学生たちは「甘くて、食感が柔らかくておいしい」と、笑顔で味わっていました。



1/25~28 人々の生きる姿をとらえる

本町の魅力を発信するプロジェクト「おいで、おおえ」の企画展「PORTRATE」が、1月25日から28日にかけて山形市七日町のギャラリーで開催されました。「おいで、おおえ」では本町に暮らす人々と生活を写真や動画で紹介する活動を続けており、会場となったギャラリーにはこれまでに撮影された写真、本町ならではの植物や産品などが展示されたほか、動画も上映されました。

また28日には、これまで出演した本町関係者によるトークイベントや軽食の提供などがおこなわれ、会場は多くの来場者で賑わいました。



1/28 力と駆け引きで勝利をつかむ

第25回町民つなひき大会が、1月28日に体育センターで開催されました。今年も町内各地区などから13チームが参加し、チームワークと技術を駆使して一進一退の熱戦を展開。熱気のこもった応援もあって、会場は大いに沸きました。

大会結果

【男子の部】

優勝／本郷東
準優勝／TC・Pぶる
第3位／本郷西、藤田

【男女混合の部】

優勝／藤田
準優勝／本郷東B
第3位／左沢北

「逃げるか、留めるか、闘うか」、春になつたら溶けて無くなる雪ではあるが、屋根に乗っかる雪の重さを測るわけにもいかない、つぶれたらと思えば気分も良くない……。雪から、雪を、雪と「逃げるか、留めるか、闘うか」の決断は、けっこう難しい。決断後の雪下ろしも、高所で滑る雪を動かす作業だけに厳しい仕事でもある。降る雪の中で、「あー、今年も水不足にはならないな」とも思い、一方、「いい加減に、ほどほどにたのむよ」と悲鳴をあげながらも、気がつくことやっぱり今年も屋根に登り、雪と闘うことになった。いかに安全に、いかに綺麗に、効率よく、無駄な力を出さないで、慌てずゆっくりできるか——「雪下ろし芸術論実践講座」の実習ということになる。戦いは正攻法で、真つ正面からの真剣勝負だ。豆腐に包丁を入れるように、ステンレスのスノーダンプで屋根の等高線に沿って横一線の切れ目を入れ、次にダンプの幅分の切れ目を縦に入れてゆけば、20丁分の雪豆腐の完成だ。ペルーの地上絵模様とまではいかないが、結構美しい。1個分の底にスノーダンプを差し入れ、上に少し浮かせて、屋根の下にゆっくり誘導しながら下ろせば1貫の上がり。徐々に下ろした分の空間が広がり、達成感も相まっていい気分、1年で1回ほどしか味わえない喜びでもある。

闘いは正攻法がいい。脇の甘さを攻めるのは許せても、背後に回るのは許せない。お互い覚悟を決めて闘う正攻法は古今東西の認めるところ、覚悟のない敵を攻めるのは、とりわけ日本では正攻法ではない。ならば雪から、雪を、「逃げるか、留めるか」と躊躇して闘うのは覚悟の闘いとは言えず、高貴な雪に対して失礼千万、正々堂々の闘いではない。よく観れば、「潔癖な純白さ」で現れてくる雪には、闘うという確たる覚悟と信念が、ずっしりと詰まっているのは間違いないからだ。たかが雪、されど雪、闘う相手に不足なしだ。梅のつぼみが心なしかふくらみを見せている、春はそんなに遠くはない。

大江町長 渡邊 兵吾

地域おこし協力隊通信

No.40



大江町の好きなところはどこですか？ 私は、身近に憧れの人がたくさんいるところです。冬至の日、地域で一人暮らしをしているおばあちゃんのところへ行きました。突然の訪問にも関わらずお茶うけに出してくれたのは、手づくりの冬至かぼちゃ。おばあちゃんが春に種をまき、秋に収穫したかぼちゃと小豆。そして、歳時記を暮らしに取り入れることで、この時期どこにでもあるかぼちゃや小豆がとてつもない魅力を秘めたスーパーフードに見えました。世間では栄養学的に優れた食材をスーパーフードというけれど、おばあちゃんにごちそうになつた冬至かぼちゃは心の栄養を補うスーパーフードでした。

誰かに見せるわけでもなく、食べるのは自分と天国のおじいちゃんだけ。けれど、1年の流れの中にちりばめられた節目節目を心にとめ、たのしむ。そんな生き方は、私の目にキラキラと映り、60年後、こんなおばあちゃんになつていたいと思うのでした。

地域おこし協力隊 野木桃子



▲人生の大先輩がつくる冬至かぼちゃ

短歌

松飾り心しずかに月明り子等の顔見て笑顔なりけり
満面の笑みで写りし曾孫ちゃん産声あげて五ヶ月となり

松田 皭

雪踏みて我が氏神に報告す叔父の弔ひ甥の嫁とり

山家 重之

主こぬ窓を眺むる猫の背に淋しき姿いとおしくなり

長岡かづ子

庄内路走る車外は海風し彼方の国は核の飛ぶ国

菊地つねよ

秋收む雪に埋もれて甘くなり刻む厨に遠い春を待つ

佐竹 興鼓

初雪はことさら多き年なりき畑のキャベツのいよいよ甘し

斎藤 徳治

俳句

大晦日古札燃すや恩を込め

鴨田富士夫

打ち初やそばの香立ちて薄日さす

阿部 一風

雪山に雪降り続く夕べかな

今井 茂樹

初雀あいさつをして啼きにけり

松田 皭

若き日の夕辺の記憶虎落笛

山家 重之

冬日射し納豆の糸光けり

舟山 三男

去年今年出羽を貫く最上川

伊藤 啓泉

※このコーナーに掲載ご希望の方は、毎月20日(必着)まで役場総務課に作品をお寄せください。

吟遊浪漫

ぎんゆうろまん



天童市内にある製造機械メンテナンスの会社に勤務する今野さん。短期大学に通っていたころ、友人に誘われたのをきっかけに自動車レースに没頭するようになり、ついには自分の車でレースに出場するまでになりました。これまでに軽自動車レースやレーシングカートなど、さまざまな大会に出場したそうです。

「自動車を運転したり調整したりするのが楽しくて、夢中になっていきました。メンテナンスを自分の手でやると、いっそう愛着がわいてきますね」

今野さんのもう1つの趣味が、写真撮影です。サーキットを走行する自動車のスピード感あふれる写真に魅せられ、一眼レフカメラを購入して自分で撮影するように。撮った写真をレース関係者に提供するようになって、交友関係も広がったといいます。

「島根県や岡山県など、遠方の方とも知り合うことができました。これからも『クルマ』を通じて、もっとつながりが広がればいいなと思っています」

今野 敬太さん (23歳・若原)

「クルマ」が広げてくれた交友の輪

シリーズ企画

月刊 仲間とエンジョイ!

No.13

町内でスポーツや文化活動などを楽しんでいる皆さんをご紹介します。

大江町書道愛好会

会長：清野 昭一郎さん(十八才)

大江町書道愛好会は、設立されてから約50年にもなる歴史ある愛好会です。現在の会員数は30名。町外から通っている方、少年少女書道教室から引き続き参加している中学生もいます。夏は毎週、冬は月2回のペースで練習し、年に数回の書道研究誌の全国展に出展することで、実力を測る機会としているそうです。

書道愛好会の魅力について、会長の清野さんは「一人で練習していると、自分の書の長所も短所も分かりづらいものです。お互いに刺激合うことで奮い立たせられますし、長く続けることにもつながるのではないのでしょうか」と話してくださいました。



▲大江町書道愛好会の皆さん



▲お互いにアドバイスや意見交換をしながら、練習に励んでいます

お知らせ

Information

大江町ふるさと奨学生を募集します

町では高校生・大学生などの就学を支援するため、無利子で奨学金を貸与しています。左記により平成三十年度の奨学生を募集しますので、希望する方はご応募ください。

- ◆奨学金貸与月額および募集人員／
○高等学校・高等専門学校：年額20万円以内 3名以内（新入学生のみ）、○大学・短期大学・専修学校（専門課程）：年額50万円以内 5名以内（新入学生のみ）
- ※奨学生は、「奨学生審査委員会」の審査を経て決定します。
- ◆貸与期間／原則として平成30年4月から卒業するまでの正規の修業年限
- ◆奨学生の資格／町内に住所を有する者などの子弟で、学習活動、その他生活全般の態度、行動が奨学生にふさわしく、将来良識ある社会人としての活動が見込める者で、所定の所得基準額以下であること
- ◆応募方法／「奨学金貸与申請書」（教育委員会備付または町ホームページに掲載）に必要事項を記載し、添付書類と合わせて提出

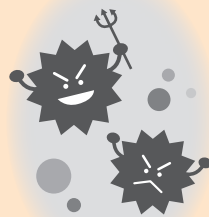
- ◆申込期間／4月2日(月)～27日(金)
- ☎教育文化課学校教育係 ☎(62)2270

平成30年度学習生活指導補助員を募集します

- ◆募集人員／若干名
- ◆業務内容／町立小中学校の児童生徒の学習および生活の補助に係る業務など

- ◆勤務日／平成30年4月1日～平成31年3月31日までの授業日（年間215日程度）
- ◆勤務時間／6時間45分勤務（8時15分～15時45分予定）
- ◆賃金／日額6750円（予定）別途交通費支給あり
- ◆申込期限／2月23日(金)
- ◆申込資格／教育職員免許状保有者（免許を持たない方は、学校教育係にご相談ください）
- ◆申込方法／履歴書、教育職員免許状の写しを添付し、教育文化課学校教育係へ提出（郵送可）
- ◆その他／社会保険および雇用保険に加入していただきます
- ☎教育文化課学校教育係 ☎(62)2270

インフルエンザ警報 発令中!



1月23日付けで県内にインフルエンザ警報が発令されています。感染予防の基本である「手洗い」、「せきエチケット」、「適切なマスク着用」、「適度な湿度管理」を心がけ、感染拡大防止に努めましょう。

ノロウイルスに注意!

ノロウイルスによる感染性胃腸炎や食中毒は、特に冬季に流行します。次のような対策が感染予防に効果的です。

- ①こまめな手洗い（調理・食事の前、トイレの後など）
- ②食品や食器・調理器具などの十分な加熱と殺菌
- ③多くの人々が触るものの消毒（トイレのレバー、ドアノブ、冷蔵庫の取っ手など）

☎健康福祉課保健衛生係 ☎(62)2114

平成30年度臨時保育士・パート保育士を募集します

- ◆勤務先／町立にじいろ保育園【臨時保育士】2名程度
- ◆業務内容／保育業務（満1歳児から5歳児）
- ◆勤務時間／7時～19時までのうち実働8時間（シフト制）
- ◆勤務日／月～土曜日（週5日）土曜日は月1回程度勤務
- ◆休日／日曜・祝日・年末年始
- ◆賃金／（参考）1日あたり8千円、別途通勤手当支給あり
- ◆その他／社会保険および雇用保険
- ◆勤務先／町立にじいろ保育園
- ◆業務内容／主に早朝・夕方延長に対応した保育業務（満1歳児から5歳児）
- ◆勤務時間／7時～19時のうち3時間程度
- ◆勤務日／月～土曜日
- ※勤務時間・勤務日については要相談
- ◆休日／日曜日・祝日・年末年始
- ◆賃金／（参考）1時間あたり千円、別途通勤手当支給あり
- ◆申込期限／2月28日(水)
- ◆申込資格／有資格者（保育士登録済み）または、3月末日まで資格取

得見込者

◆申込方法/履歴書(任意)に資格証明書(写し)を添えて、健康福祉課へ提出(書類選考後、面接日などをご連絡します)

※平成30年度より町立保育所の運営は社会福祉法人がおこなう予定となつていきますので、雇用先は社会福祉法人となります。

㊦健康福祉課子育て支援係

☎(62)2285

平成30年度健康診査家族調査票兼申込書の提出について

来年度の町実施の健診申込を取りまとめるため、調査票兼申込書を隣組長などとおして配布・郵送します。健診を受けない方や職場・医療機関で受ける方も含め、世帯全員分をご記入のうえ提出をお願いします。詳細は調査票同封のチラシをご覧ください。

㊦健康福祉課保健衛生係

☎(62)2114

学生対象の企業ガイダンスを開催します

地元企業への就職を希望する県出身学生支援のため、平成31年3月卒業予定者を対象とした企業ガイダンスを開催します。

スを開催します。

◆日時/3月6日(火)13時~16時半

◆会場/山形ビッグウイング

◆対象者/平成31年3月に大学・短期大学・専修学校・高等専門学校を卒業予定の学生

◆参加企業/県内に本社または就業場所を有する企業140社(予定)

㊦山形労働局職業安定部職業安定課

☎023(626)6109

河川愛護団体・支援企業相互交流会のお知らせ

県管理の河川におけるボランティア活動に対し、支援制度やその取り組みを事例をもとに紹介し、また河川管理に関する情報などを分かりやすく説明しながら、河川愛護活動が効果的かつ効率的に実施できるよう情報交換をおこないます。

◆日時/2月16日(金)14時~16時

◆会場/村山総合支庁本庁舎(山形市鉄砲町)

◆対象/河川愛護のボランティアやその支援制度に興味のある個人、団体、企業の方々

◆参加費/無料(交通費などは自己負担)

㊦村山総合支庁西村山河川砂防課

☎(86)8413

農業実践者セミナーのお知らせ

新たに農業を始められた方、新しい部門を導入する方など、農業の基本を勉強したい方を対象に、稲作・果樹・花木・畜産の基本的な栽培技術と農産加工、農業簿記を習得するセミナーを開催します。内容についてはお問い合わせください。詳しい案内をお送りします。

◆開催期間/4月~平成31年3月

◆実施主体/西村山農業技術普及課

◆受講料/無料(ただし教材費などは実費負担)

㊦村山総合支庁西村山農業技術普及課経営企画担当 ☎(86)8248

善意いただきました

大江町キリスト教会より、昨年11月23日に開かれたクリスマスチャリティコンサート収益金7万円を、平成28年の熊本地震で被災された方への義援金として寄付していただきました。義援金は、日本赤十字社を通して被災者へ届けられます。

なお日本赤十字社では、現在も東日本大震災義援金と熊本地震災義援金を受け付けています。



編集後記 (伊藤智治)

「話し手の想いをできるだけホットなまま皆さんに届けられるよう、今後もよき「聴き手」を目指していきたいです。」

平成29年度も残すところあと2カ月。今年度も、たくさんの方に

お話を聴かせていただきました。仕事や地域活動に対する熱意、子どもころの思い出、日常の中で感じたこと、そしてインタビューの合間にこぼれるかすかな本音——いずれも、何らかの媒体に残さなければ雲散霧消してしまう「生」の言葉です。それらをノートに書き留め、文章として再構成するということを繰り返してきました。

1月28日、「おいで、おおいで」の皆さんが企画されたトークイベントに、話し手の1人として参加させていただきました。いつも「聴き手」である私に、果たして実のある話ができるだろうか——そんな不安が拭えぬまま迎えた当日。一緒に参加した話し手の皆さんは、自身の思いや考え方を無理のない素直な言葉で見事に表現されていました。私はといえは……話をしながら頭の中で次に話すべき文章を組み立てようとしても、単語がぐるぐる空転するばかり。「話す」という行為の異質さを痛感させられたと同時に、「生」の言葉が持つ重さをも、改めて実感しました。「話し手の想いをできるだけホットなまま皆さんに届けられるよう、今後もよき「聴き手」を目指していきたいです。」

思い出の No.28 まいぞうひん My蔵品

皆さんの心に残る思い出の品を、それにまつわるエピソードとともにご紹介します。



▲55年以上前に渡邊さんの祖父が手作りした「わらみの」。カラフルな布やビニールが織り込んであります



▲蚕の餌になる桑などを入れていた「はけご」



▲「亡くなる少し前で、祖父はいろんなものを作っていました」と話す渡邊さん

昔は多くの農家が、冬仕事として「みの」や「わらじ」、「ふかぐつ」などのわら細工を作っていました。私の祖父もわら細工を作って売っており、この「わらみの」も祖父の手作りです。荷物を背負っても傷まないよう、背中部分をつつ編みにしたり、より丈夫にするために布やビニールを織り込んだりと、いろいろな工夫が凝らされています。雨や雪が激しい日の作業用に、水が染み込みにくい「すげ」で編んだ「みの」もあります。

昭和40年代くらいまでは、私も「みの」を使っていました。雨がっぱや長靴などが広まってからは、わらの製品はどんどん使われなくなっていき、我が家にあったわら細工も、公共施設に寄贈するなどして少なくなりました。こうしたわら細工が残っている家も、今ではほとんどないのではないのでしょうか。

(橋上 渡邊新蔵)

★皆さんの思い出の詰まった「宝物」はありませんか？
懐かしい写真、長年愛用している道具、旅先で購入した記念の品など、なんでも結構です。
総務課情報システム係 ☎(62)2187まで、ぜひお知らせください。

戸籍のまど

12月16日～1月20日受付分

お誕生おめでとう

区名	氏名	性別	父母名
8区	菅野 眺 <small>ひかり</small>	女	誉生・瞳
4区	志藤 杏 <small>あん</small>	女	拓矢・愛子

ご冥福を祈ります

区名	氏名	年齢
小見	伊藤 精一	(65)
6区	安藤 光一	(77)
8区	井上宗太郎	(89)
下モ原	今野 宣子	(81)
9区	菊地たまの	(92)
梨木原	結城久良治	(82)
7区	熊谷 珠恵	(71)
12区	箱崎チヨコ	(95)
美郷	高橋喜榮子	(81)
12区	寒河江守一	(82)
9区	鈴木 りね	(89)
月が丘	荒木 正信	(83)
9区	松田準太郎	(97)
木の沢	工藤 四郎	(90)
深沢	菊地 順一	(62)
柳川平	富樫みねよ	(92)
貫見	松田 光弘	(86)
9区	門重たかの	(100)



人口と世帯(前月比)

町の人口	8,385人(-18)
男	4,147人(-12)
女	4,238人(-6)
世帯数	2,930戸(-3)

平成30年2月1日現在

※掲載を希望しない場合は、届け出の際にお申し出ください。